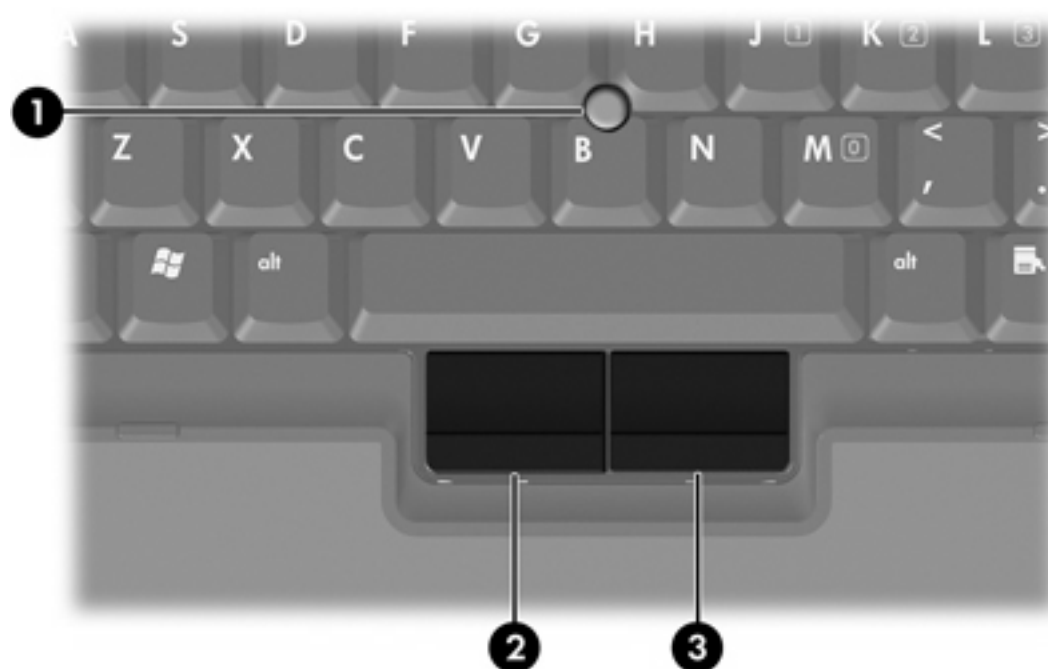
ポインティング デバイスおよびキーボード

ユーザ ガイド

目次

1　ポインティング デバイス

次の図および表では、コンピュータのポインティング デバイスについて説明します。

名称		説明
(1)	ポインティング スティック	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択またはアクティブにしたりします
(2)	左のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
(3)	右のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します

*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

ポインティング スティックの使用

ポインティング スティックを移動したい方向に向かって押しつけます。

ポインティング スティックの左右のボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。

外付けマウスの使用

外付け USB マウスは、コンピュータにある USB ポートのどれか 1 つを使用してコンピュータに接続できます。USB マウスは、別売のドッキング デバイスのポートを使用してシステムに接続することもできます。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

Windows®の[マウスのプロパティ]を使用して、次のようにポインティング デバイスの設定（マウスの速度など）をカスタマイズできます。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

2 キーボード

次の項目では、コンピュータのキーボード機能について説明します。

ホットキー

ホットキーは、fn キー（**1**）と、esc キー（**2**）またはファンクション キー（**3**）との組み合わせです。

ホットキーの機能は、f3、f4、および f8 ～ f10 のファンクション キーにアイコンで示されています。ホットキーの機能および操作については次の項目で説明します。

ホットキーのクイック リファレンス

実行する機能	キー
システム情報の表示	fn ＋ esc
システム情報の消去	fn ＋ esc または**[OK]**をクリックする
スリープの起動	fn ＋ f3
スリープからの復帰	電源ボタン
コンピュータのディスプレイと外付けディスプレイの画面の切り替え	fn ＋ f4
バッテリ情報の表示	fn ＋ f8
バッテリ情報の消去	fn ＋ f8
画面の輝度を下げる	fn ＋ f9
画面の輝度を上げる	fn ＋ f10

ホットキーの操作

コンピュータのキーボードでホットキー コマンドを使用するには、以下の操作のどちらかを行います。

- fn キーを短く押し、次にホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  または

- fn キーを押しながら、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

システム情報の表示および消去（fn ＋ esc）

fn ＋ esc ホットキーを押すと、システムのハードウェア コンポーネントやシステム BIOS（Basic Input/Output System）のバージョン番号に関する情報が表示されます。fn ＋ esc ホットキーをもう 1 回押すと、システム情報が画面から消えます。

fn ＋ esc ホットキーで Windows に表示される画面では、システム BIOS のバージョンは BIOS の日付として表示されます。コンピュータのモデルによっては、BIOS の日付は小数点で区切られた形式で表示されます。BIOS の日付は、システム ROM のバージョン番号とも呼ばれます。

スリープの起動（fn ＋ f3）

fn ＋ f3 ホットキーを押すと、スリープが起動します。

スリープが起動すると、情報がランダム アクセス メモリ（RAM）に保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピュータがスリープ状態の間は、電源ランプが点滅します。

注意　情報の損失を防ぐために、スリープを起動する前に必ずデータを保存してください。

スリープを起動する前に、コンピュータの電源がオンになっている必要があります。

注記　コンピュータがスリープ状態のときに完全なローバッテリ状態になった場合、ハイバネーションが起動して、RAM 内の情報がハードドライブに保存されます。完全なローバッテリ状態になった場合、出荷時設定ではハイバネーションが起動しますが、この設定は電源の詳細設定で変更できます。

スリープを終了するには、電源ボタンを短く押します。

fn ＋ f3 ホットキーの機能は変更することができます。たとえば、fn ＋ f3 ホットキーを押すと、スリープではなくハイバネーションが起動するように設定できます。

注記　Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「スリープ ボタン」に関する記述はすべて、fn ＋ f3 ホットキーに当てはまります。

画面の切り替え（fn ＋ f4）

fn ＋ f4 ホットキーを押すと、システムに接続されているディスプレイ デバイスの間で表示画面を切り替えることができます。たとえば、コンピュータにモニタを接続している場合は、fn ＋ f4 ホットキーを押すたびに、コンピュータ本体のディスプレイ、モニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外部 VGA ビデオ方式を使ってコンピュータからビデオ情報を受け取ります。fn ＋ f4 ホットキーでは、外部 VGA 以外の方式を使用するデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

次のビデオ伝送方式が fn ＋ f4 ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピュータ本体のディスプレイ）
- 外部 VGA（ほとんどの外付けモニタ）
- S ビデオ（S ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオ キャプチャ カード）（一部のモデルのみ）
- コンポジット ビデオ（コンポジット ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオ キャプチャ カード）

注記　S ビデオおよびコンポジット ビデオ デバイスをシステムに接続するには、別売のドッキング デバイスを使用する必要があります。

バッテリ パック充電情報の表示（fn ＋ f8）

fn ＋ f8 ホットキーを押すと、コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリ パックの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリ パックと、各バッテリ パックの残量が確認できます。

画面の輝度を下げる（fn ＋ f9）

fn ＋ f9 ホットキーを押すと、画面の輝度を下げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度が少しずつ変わります。

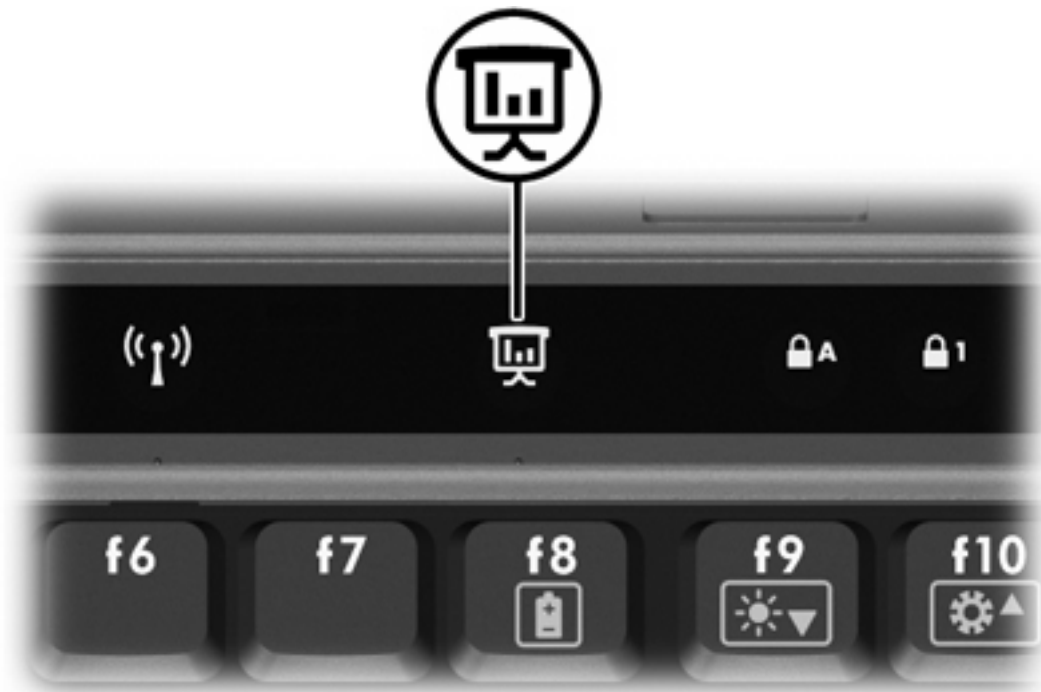
画面の輝度を上げる（fn+f10）

fn ＋ f10 ホットキーを押すと、画面の輝度を上げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度が少しずつ変わります。

HP Quick Launch Buttons（一部のモデルのみ）

HP Quick Launch Buttons（HP クイック ローンチ ボタン）を使用して、頻繁に使用するプログラムを開きます。頻繁に使用するプログラムは、HP Quick Launch Buttons の[設定]ではアプリケーションと呼ばれる場合があります。

	名称	説明
（1）	Info Center Button	Info Center を起動します。Info Center を使用して、さまざまなソフトウェア ソリューションを起動できます。次のどれかの操作を実行するように、このボタンを再設定することもできます ● プレゼンテーション モードまたは Q Menu（Q メニュー）を起動する ● 電子メール アプリケーションを起動する ● Web サイトを検索する検索ボックスを起動する 詳しくは、「ボタンの設定」または「Info Center Button」を参照してください
（2）	Presentation Button	プレゼンテーション機能をオンにします。プログラム、フォルダ、ファイル、または Web サイトを開き、コンピュータ本体の画面と外付けデバイスの両方に同時に表示します。詳しくは、「Presentation Button」を参照してください 次のどれかの操作を実行するように Presentation Button を設定することができます ● Q Menu または Info Center を起動する ● 電子メール アプリケーションを起動する ● Web サイトを検索する検索ボックスを起動する プレゼンテーション ボタンの設定変更について詳しくは、「ボタンの設定」を参照してください

Presentation Button

Presentation Button を初めて押したときに、[プレゼンテーション設定]ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスでは、次のどれか 1 つの操作を実行するようにボタンを設定することができます。

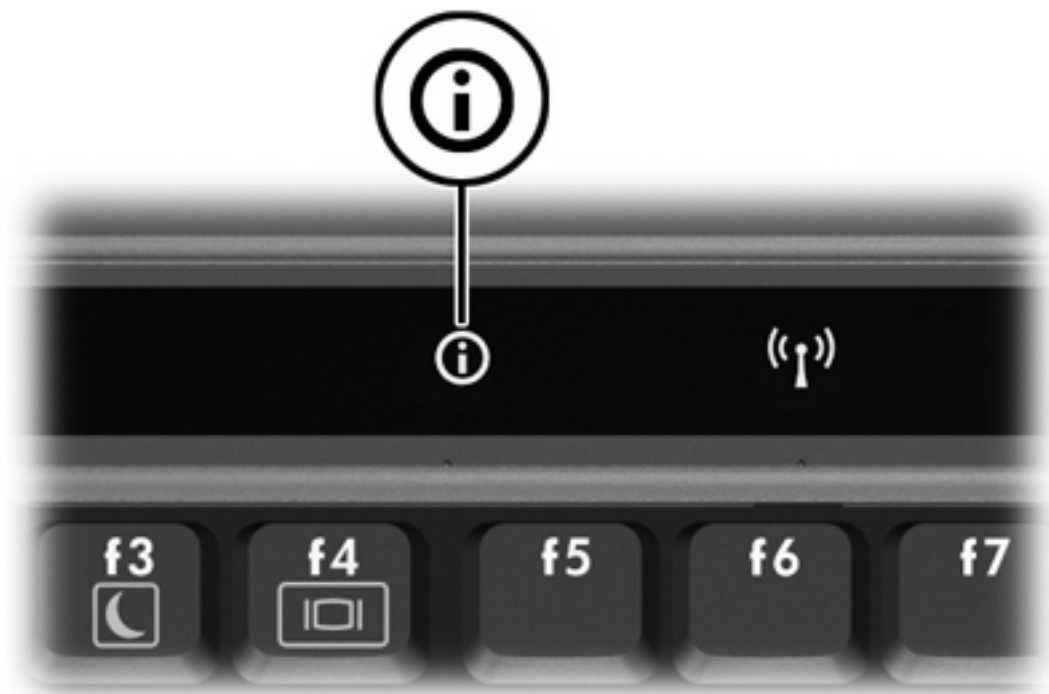
- 指定したプログラム、フォルダ、ファイル、または Web サイトを開く
- 表示設定を選択する

画像は、コンピュータ本体の画面と次のどれかに接続された外付けデバイスに同時に表示されます。

- 外付けモニタ ポート
- 別売のドッキング デバイスのポートおよびコネクタ

Presentation Button を初期設定のままでは使用しない場合、次のどれかの操作を実行するようにボタンを再設定することができます。

- Q Menu または Info Center を起動する
- 電子メール アプリケーションを起動する
- Web サイトを検索する検索ボックスを起動する

Info Center Button

Info Center Button を初めて押したときに、[Info Center]が開き、プリセットされているソフトウェア ソリューションを起動できるようになります。Info Center Button を初期設定のままでは使用しない場合、次のどれかの操作を実行するようにボタンを再設定することができます。

- Q Menu またはプレゼンテーション機能を起動する
- 電子メール アプリケーションを起動する
- Web サイトを検索する検索ボックスを起動する

HP Quick Launch Buttons の[設定]

注記　HP Quick Launch Buttons の[設定]の一覧には、コンピュータによってサポートされていない操作もあります。

HP Quick Launch Buttons の[設定]を使用して、以下の操作を行えます。

- Presentation Button および Info Center Button のプログラム、およびそれぞれのボタンの設定の変更
- Q Menu の項目の追加、変更、および削除
- Windows デスクトップに表示されるウィンドウのタイリングの設定
- その他の設定（次の項目を含む）
  - [HP Quick Launch Buttons]アイコンの表示設定
  - HP Quick Launch Buttons のデスクトップ通知の表示
  - 自動モード変更の有効/無効の切り替え
  - [クイック スイッチ]の有効/無効の切り替え
  - 表示解像度の変更検知機能の有効/無効の切り替え

以下の項目では、[設定]内での設定方法について説明します。[設定]の項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンをクリックしてください。

HP Quick Launch Buttons の[設定]の起動

次のどれかの方法で HP Quick Launch Buttons の[設定]を起動することができます。

- **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Quick Launch Buttons]**の順に選択します。
- タスクバーの右端の通知領域にある**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンをダブルクリックします。
- 通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックして、**[HP Quick Launch Buttons のプロパティの調整]**を選択します。

ボタンの設定

ボタンを押すと Q Menu、Info Center、電子メール アプリケーション、Web サイトの検索ボックスを起動するように、またはプログラム、フォルダ、ファイルや Web サイトを開くようにボタンを設定することができます。

ボタンを押すと Q Menu または Info Center を起動するように設定するには、次の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttons の[設定]で、**[プログラム可能なボタン]**タブをクリックします。
2. 設定したいボタンの隣にある下向き矢印をクリックして、**[Q Menu]**または**[HP Info Center]**をクリックします。
3. 設定を保存して[設定]を閉じるには、**[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

ボタンを押すと電子メール アプリケーションを起動するか、または Web サイトを検索するように設定するには、次の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttons の[設定]で、**[プログラム可能なボタン]**タブをクリックします。
2. 設定したいボタンの隣にある下向き矢印をクリックして、**[Launch eMail]**（電子メールの起動）または**[Search URL]**（URL を検索）をクリックします。
3. 設定を保存して[設定]を閉じるには、**[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

ボタンを押すとプログラム、フォルダ、ファイル、または Web サイトを開くように設定するには、次の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttons の[設定]で、**[プログラム可能なボタン]**タブをクリックします。
2. 設定したいボタンの隣にある下向き矢印をクリックして、**[プレゼンテーション]**をクリックします。
3. **[設定]**ボタンをクリックします。
4. [起動するプログラム]の下のボックスに、プログラム、フォルダ、ファイル、または Web サイトの URL を入力します。

   または

   [参照]をクリックして利用可能なプログラム、フォルダ、ファイル、または Web サイトを検索し、1 つをクリックして選択します。
5. 設定を保存して[設定]を閉じるには、**[適用]**→**OK** の順にクリックします。

Q Menu の表示

Q Menu には、さまざまなシステム タスクに簡単にアクセスできる機能があります。これらの機能は、ほとんどのコンピュータのボタン、キー、またはホットキーに対応しています。

デスクトップで Q Menu を表示するには、次の操作を行います。

▲ [HP Quick Launch Buttons]アイコンを右クリックして、**[Q Menu の起動]**を選択します。

Q Menu の設定

Q Menu には、最大で 40 項目を表示できます。いくつかのシステム定義項目は、工場出荷時に設定されています。これらの項目を表示させるか表示させないかを選択できます。ユーザ定義項目のみを追加できます。初期設定項目を含め、すべての項目が削除可能です。

Q Menu の項目は、**[Q Menu に表示する項目]**リストを使用して管理します。

Q Menu の項目の削除

Q Menu から項目を削除するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttons の[設定]で、**[Q Menu]**タブをクリックします。
2. **[Q Menu に表示する項目]**リストで、削除するそれぞれの項目のチェックボックスのチェックを外します。
3. 設定を保存して[設定]を閉じるには、**[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

Q Menu の項目の追加

[Q Menu に表示する項目]リストの項目を Q Menu に追加するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttons の[設定]で、**[Q Menu]**タブをクリックします。
2. 追加する項目のチェック ボックスにチェックを入れます。
3. 設定を保存して[設定]を閉じるには、**[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

Q Menu へのユーザ定義項目の追加

[Q Menu に表示する項目]リストにない項目（ドライブ上、ネットワーク上、またはインターネット上の項目など）を**[Q Menu に表示する項目]**リストと Q Menu に追加するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttons の[設定]で、**[Q Menu]**タブをクリックします。
2. **[追加]**をクリックします。
3. **[新しいメニュー項目の追加]**ダイアログ ボックスでは、入力または参照によって項目を追加できます。
   - キーボードを使用して項目を追加するには、**[表示名]**ボックスに項目の名前を入力し、**[ファイル名]**ボックスに項目のパスを入力します。[表示名]を入力して、[ファイル名]を参照する場合は、**[ファイル名]**ボックスは空白のままにします。
   - 参照によって項目を追加するには、**[参照]**ボタンをクリックします。

     ウィンドウ上で項目を選択します。（項目の完全名が**[ファイル名]**ボックスに表示されます。**[表示名]**ボックスに名前を入力しなかった場合は、項目名から表示名が生成されて、**[表示名]**ボックスに表示されます。）
4. 設定を保存して[設定]を閉じるには、**[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

ユーザ定義項目の変更

ユーザ定義項目は変更できますが、システム定義項目は変更できません。**[Q Menu に表示する項目]**リストでシステム定義項目を選択した場合、[修正]ボタンは使用できません。

ユーザ定義項目の表示名やファイル名を変更するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttons の[設定]で、**[Q Menu]**タブをクリックします。
2. **[Q Menu に表示する項目]**リストから項目をクリックします。

3. **[修正]**をクリックします。
   - キーボードを使用して項目の表示名またはファイル名を変更するには、**[表示名]**ボックスに項目の新しい名前を入力するか、**[ファイル名]**ボックスに項目の新しいパスを入力します。[表示名]を入力して、[ファイル名]を参照する場合は、**[ファイル名]**ボックスは空白のままにします。
   - 参照によって表示名またはファイル名を変更するには、**[参照]**ボタンをクリックします。

     ウィンドウ上で項目を選択します。（項目の完全名が**[ファイル名]**ボックスに表示されます。**[表示名]**ボックスに名前を入力しなかった場合は、項目名から表示名が生成されて、**[表示名]**ボックスに表示されます。）
4. 設定を保存して[設定]を閉じるには、**[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

Q Menu 項目の位置の変更

Q Menu 上で項目の位置を変更するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttons の[設定]で、**[Q Menu]**タブをクリックします。
2. **[Q Menu に表示する項目]**リストから項目を選択します。次に、以下の操作を行います。
   - 項目を上方向に移動するには、**[上に移動]**ボタンをクリックします。
   - 項目を下方向に移動するには、**[下に移動]**ボタンをクリックします。
3. 設定を保存して[設定]を閉じるには、**[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

[Q Menu に表示する項目]リストからの項目の削除

システム定義項目は、[Q Menu に表示する項目]リストから削除できません。

ユーザ定義項目を削除するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttons の[設定]で、**[Q Menu]**タブをクリックします。
2. 削除する項目をクリックします。
3. **[削除]**をクリックします。
4. 設定を保存して[設定]を閉じるには、**[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

タイリングの設定

Windows デスクトップで、複数のウィンドウが重ならないように並べて表示する、タイリングを設定するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttons の[設定]で、**[Quick Tile]**タブをクリックします。
2. **[上下に並べて表示]**または**[左右に並べて表示]**をクリックしてから、並べて表示するプログラムを**[現在実行中のアプリケーション]**ボックスでクリックします。
3. 設定を保存して[設定]を閉じるには、**[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

その他の設定

Quick Launch Buttons の[設定]で、その他の設定を行うことができます。

注記　[Preferences]の一覧には、お使いのコンピュータによってサポートされていない設定もあります。

その他の設定を行うには、以下の手順で操作します。

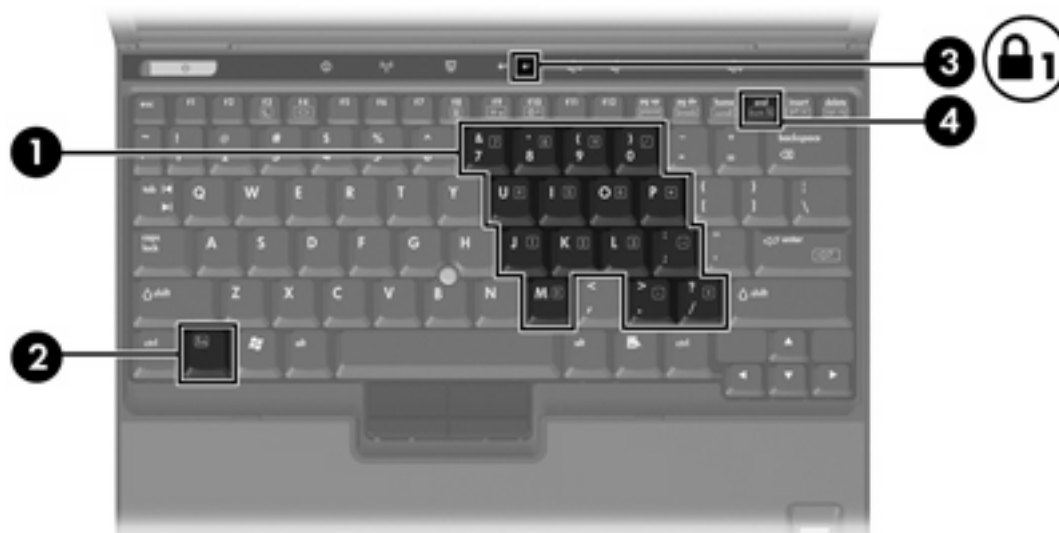
1. HP Quick Launch Buttons の[設定]で、**[Preferences]**（カスタマイズ）タブをクリックします。
2. 設定を表示するか有効にするには、項目の隣にあるチェックボックスにチェックを入れます。

   または

   設定を削除するか無効にするには、項目の隣にあるチェックボックスのチェックを外します。

注記　[Preferences]タブの項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンをクリックしてから、項目をクリックしてください。

3 テンキー

お使いのコンピュータには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

	名称
（1）	内蔵テンキー
（2）	fn キー
（3）	Num Lock ランプ
（4）	num lk キー

内蔵テンキーの使用

15 個の内蔵テンキーは外付けテンキーと同じように使用できます。内蔵テンキーが有効のときは、テンキーを押すと、そのキーの右上隅にあるアイコンで示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、fn + num lk キーを押します。Num Lock ランプが点灯します。fn + num lk キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

注記　外付けキーボードやテンキーがコンピュータまたは別売のドッキング デバイスに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは fn + shift キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能とを一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効のときに、テンキーの機能をテンキーの入力機能に変更するには、fn キーを押しながらテンキーを押します。
- テンキーが有効のときに、テンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、次の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押しながら文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn + shift キーを押しながら文字を入力します。

外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock モードがオンのときとオフのときとで機能が異なります。（初期設定では、Num Lock モードはオフになっています。）たとえば、次のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、[page up]キー、[page down]キーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock モードをオンにすると、コンピュータの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピュータの Num Lock ランプが消灯します。

外付けテンキーを接続している場合は、内蔵テンキーを使用することができません。

作業中の Num Lock モードの有効/無効の切り替え

作業中に外付けテンキーの Num Lock モードのオンとオフを切り替えるには、次の操作を行います。

▲ コンピュータではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

索引